

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

でんとうてき ぎょうじ げいのう
伝統的な行事と芸能

いばらのおにまつり

井原の鬼まつり

新高総早倉矢
見梁社島敷掛
市市市町市町

井原市

浅里笠
口庄岡
市町市



かん けい ば しょ
関係のある場所

—



ぎょう じ

この行事について

いばらちよう あきまつ べつめい おに よ ご しんこう さきばら きかざ おおおに こおに
井原町の秋祭りは、別名を「鬼まつり」と呼ばれ、御神幸の先払いとして着飾った大鬼・小鬼たち
まち ぼ すがた
が町をかつ歩する姿は、まことにきらびやかです。

おに ゆらい じゅうぜん かくちく ご しんこう おこな ぶんせい ねん
「鬼まつり」の由来としては、従前は、各地区で御神幸が行われていましたが、文政5年(18
ねん まいとしおこな きろく のこ
22年)から毎年行われることとなった記録が残っています。

せん ご おに しゅつじょうしゃ しだい げんしょう へいせい はい いばらこうみんかん ちゅうしん かくしゅだんたい
戦後、鬼の出場者が次第に減少していきましたが、平成に入り、井原公民館を中心に各種団体が
きょうりよく おに こうつう あんぜん すいしん けい はつ いったい じっし
協力して、鬼まつりパレードと交通安全推進啓発パレードを一体として実施するようになり、
せいだい おこな
盛大に行われるようになりました。

とうじつ きんりん おお しゃしんあいこう か おとず ねら
まつり当日は、近隣から多くの写真愛好家が訪れ、シャッターチャンスを狙っています。